

区分 AIを活用した分野

(サブタイトル) AIビジネスの基礎知識と具体的手法

(開発した訓練の特徴等)

訓練の内容: AIの基本的知識を学び、ビジネス活用の視点を身につける。

AIビジネス概論: 4科目、総時間19時間

ビジネスにおけるAIの実装: 8科目、総時間33時間

訓練の対象となる業種・職種等:

- ・ 地元のIT業界の開発会社や一般企業。対象業種はIT・通信・インターネット・広告・メディアを中心に、食品製造、住宅建設、金融や医療なども含めた幅広い産業分野を想定する。

(受講のメリット)

- ・ AIの基本的知識が身につく。
- ・ AIビジネス活用について知見を深める。
- ・ 地方のAI動向を知ることができる。



(実施した時の環境等)

訓練の内容: AI講座

募集期間 : 9月6日～10月18日

応募人数 : 20人

受講人数 : 16人(先着により決定)

受講日時 : 11月19日、20日、26日、27日、12月3日、4日(9:30～17:10)

受講料 : 無料

社会人受講生のための配慮:

- ・ 受講前にeラーニングを受け、受講生レベルを合わせる。
- ・ Slackやオンラインストレージを使った講座外での予習復習のための環境準備

区分 AIを活用した分野

(訓練を実施する上で注意する点)

訓練の内容: 業界に合わせた教材内容や事例の準備。
訓練開催日: 平日の昼間開催の場合、仕事で欠席がありえるのでインターネットを使ったフォローが必要。また、欠席しても影響が少なくなるよう科目間の関連を少なくして、個別で成立する内容とする。

(訓練を実施する上で推奨される取り組み事例)
受講生を集めるための工夫: 募集開始するタイミングでAI講演会を実施。その席上でAI講座の内容を説明する。もともと興味ある層に直接アピールできるので効果的である。
技術面以外のビジネス活用の内容も必要: IT業界からの参加が多かったが、技術面だけの講座ではなく、AIをどのように活用するのか講座、県内事例、ワークショップ等の手法で理解してもらう。



- (受講者等からの声)
- ・技術面・ビジネス面の異なる面からAIを学べた。
 - ・期待以上に実践的な内容で良かった。(コラボトリーやPython 実習など)。
 - ・毎時間の資料をいただけただけなので復習が容易にできて良かった。
 - ・技術面を一通り説明が終わったこと、県内の具体的な事例があったこと。

(受託事業者) 学校法人国際総合学園 新潟コンピュータ専門学校

(詳細・問い合わせ先)
厚生労働省HP: URL https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/program_development_text.html#AI
厚生労働省人材開発統括官付参事官室(人材開発政策担当)政策企画室事業係 03-5253-1111(内線5648)